

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【**単独**・連携事業】

| | |
|-----|-----|
| 市町名 | 野木町 |
|-----|-----|

(単位:円)

| No. | 単位事業名 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 合計 |
|-----|------------------------|---------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 1 | 老若男女が触れ合いながら集える親水公園づくり | 総事業費 | 1,000,024 | 1,000,005 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 5,000,029 |
| | | うち市町支出額 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | | | 3,000,000 |
| | | うち県交付金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 0 | 0 | 1,500,000 |
| 2 | 新橋区高齢化対策検討と対策の実施事業 | 総事業費 | 940,013 | 900,232 | 900,000 | 900,000 | 900,000 | 4,540,245 |
| | | うち市町支出額 | 940,000 | 900,000 | 900,000 | | | 2,740,000 |
| | | うち県交付金 | 470,000 | 450,000 | 450,000 | 0 | 0 | 1,370,000 |
| 3 | 駅前商店街活性化事業 | 総事業費 | 1,036,834 | 1,057,440 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 5,094,274 |
| | | うち市町支出額 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | | | 3,000,000 |
| | | うち県交付金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 0 | 0 | 1,500,000 |
| 4 | 野木町さくらまつり | 総事業費 | 1,894,208 | 2,419,896 | 1,500,000 | 1,500,000 | 1,500,000 | 8,814,104 |
| | | うち市町支出額 | 1,500,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | | | 3,500,000 |
| | | うち県交付金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 0 | 0 | 1,500,000 |
| 5 | 野木町ふれあい夏祭り | 総事業費 | 615,025 | 615,100 | 615,000 | 615,000 | 615,000 | 3,075,125 |
| | | うち市町支出額 | 615,000 | 615,000 | 615,000 | | | 1,845,000 |
| | | うち県交付金 | 307,500 | 307,500 | 307,500 | 0 | 0 | 922,500 |
| 6 | 野木町駅伝大会 | 総事業費 | 990,000 | 1,015,210 | 993,719 | 1,000,000 | 1,000,000 | 4,998,929 |
| | | うち市町支出額 | 680,000 | 680,000 | 680,000 | | | 2,040,000 |
| | | うち県交付金 | 340,000 | 340,000 | 340,000 | 0 | 0 | 1,020,000 |
| 7 | ひまわりフェスティバル | 総事業費 | | | 16,700,000 | 16,700,000 | 16,700,000 | 50,100,000 |
| | | うち市町支出額 | | | 2,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 4,000,000 |
| | | うち県交付金 | | | 1,000,000 | 500,000 | 500,000 | 2,000,000 |
| 8 | 野木町魅力ある観光地づくり事業 | 総事業費 | | | 2,140,000 | 2,140,000 | 2,140,000 | 6,420,000 |
| | | うち市町支出額 | | | 1,000,000 | 500,000 | 500,000 | 2,000,000 |
| | | うち県交付金 | | | 500,000 | 250,000 | 250,000 | 1,000,000 |
| 9 | 野木町産業祭 | 総事業費 | | | 2,529,000 | 2,529,000 | 2,529,000 | 7,587,000 |
| | | うち市町支出額 | | | 1,000,000 | 500,000 | 500,000 | 2,000,000 |
| | | うち県交付金 | | | 500,000 | 250,000 | 250,000 | 1,000,000 |
| 10 | | 総事業費 | | | | | | 0 |
| | | うち市町支出額 | | | | | | 0 |
| | | うち県交付金 | | | | | | 0 |
| 市町計 | | 総事業費 | 6,476,104 | 7,007,883 | 27,377,719 | 27,384,000 | 27,384,000 | 95,629,706 |
| | | うち市町支出額 | 5,735,000 | 5,195,000 | 9,195,000 | 2,000,000 | 2,000,000 | 24,125,000 |
| | | うち県交付金 | 2,617,500 | 2,597,500 | 4,597,500 | 1,000,000 | 1,000,000 | 11,812,500 |

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

| | |
|---------------------|---|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | 老若男女が触れ合いながら集える親水公園づくり |
| 事業主体の名称 | 水辺の楽校応援倶楽部 |
| 代表者の名称 | 長浜 利一 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町大字野木540-2 |
| 事業主体の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: のぎ水辺の楽校周辺の自然保護と環境整備を推進する。 ・設立年月日: 平成24年4月14日 ・構成員等: 地域住民・のぎ学区分館役員・退職教員・地元選出議員・元地主 |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | <p>野木町は、ラムサール条約に登録された「渡良瀬遊水池」のほか思川が流れる水自然豊かな町である。そのため、国土交通省の「水辺の学校プロジェクト(※)」の対象となり、散策路等の整備が進められたが、平成21年度の事業仕分けで中断されてしまった。</p> <p>そこで、自分達の方で、きれいな水辺を活かした(ホタルが飛び交うくらい)老若男女が集える場所を作りたいと、地元の有志で「水辺の楽校応援倶楽部」を立ち上げ、水路や池の整備、ホタルの幼虫の放流等に取り組んだところ、最近では、ホタル観賞を目的に周辺住民が訪れるようになってきている。</p> <p>しかし、ホタルが自然発生する段階には至っておらず、水路や散策路も整備半ばであるなど、今後いかにしてホタルが自然発生する段階まで環境を整備し、町民をはじめ町外、県外からも人が集まる場にすることが課題となっている。</p> <p>※水辺の楽校プロジェクト「子どもの水辺」における環境学習や自然体験活動を進めるにあたって河川の整備が必要な場合に、自然の状態を極力残しながら瀬や淵、せせらぎ、ワンド等の自然環境を保全・復元するとともに、子どもたちが安全に自然に出会えるよう河岸等へのアクセシビリティの改善(水辺に近づける河岸整備)、管理用通路の整備等を行うもの。</p> |
| 事業目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用し、ホタルが自然発生する環境を整備する。 ・町民に「自然が豊かで住みやすい街」として認識してもらう。 ・町外、県外から観光客を呼び込む。 |
| 事業概要 | <p>整備半ばである水路等の整備やホタルが自生する環境づくりを継続したほか、周辺へのPRを強化する。</p> <p>《環境整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホタルの飛び交う環境づくり ・ゲンジボタルの幼虫や、カワニナ(ホタルのエサ)を放流する。 ・年5回程度専門家からホタル養殖技術現地指導を受ける。(専門家…30年以上にわたり水辺の動植物に関するフィールドワークを行う) ○水路の整備…開発半ばとなっている「のぎ水辺の楽校」に、湧き水を流す水路を作り、整備を継続する。 ○散策路の整備…池及び周辺にある水生植物の成長を見守り、訪れた人々が四季に応じた植物を楽しめるよう散策路の整備を行う。 ○湿原の整備…水鳥や猛禽類を観察できるよう、湿原の環境整備を行う。 <p>《町民へのPR》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○近隣の小中学校との連携 ・野木小学校5年生を対象に、水辺の楽校に関する説明会を行う。 ・野木小学校2年生を対象にザリガニ釣りを実施する。 ・バーベキュー大会を実施し、親子のふれあいを図る。 ・野木小学校5年生を対象に、幼虫の飼育の説明会を実施する。 <p>《人を呼び込む》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホタル祭りの開催(平成30年6月9日(土)、10日(日)) ・ホタルの観察会、各種飲食屋台の出店などを行う。 ○PR活動 ・ホタル祭りのチラシを2,000枚、ポスターを100枚作成し、町内各所及び古河市内、JR野木駅、JR古河駅に配布するほか、野木町HPにおいてもPRを行う。 |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | <p>【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり</p> <p>【数値目標】野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値:59.0%(H27調査) → 目標値:70.0%(H31調査)</p> <p>【KPI】観光入込客数 現状値:116,491人(平成26年度) → 目標値:186,491人(平成31年度)</p> |

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 支援期間の 事業費計 | 支援期間の 翌年度 |
|-------------------|--|--|--|---------------|--|
| 事業内容 | ①水路の整備 ②ホタルの幼虫放流 ③散策路の整備 ④湿原の環境整備 ⑤小、中学生の自然観察などの学習環境の整備 ⑥ホタル祭りの開催 | ①水路の整備 ②ホタルの幼虫放流 ③散策路の整備 ④湿原の環境整備 ⑤小、中学生の自然観察などの学習環境の整備 ⑥ホタル祭りの開催 | ①水路の整備 ②ホタルの幼虫放流 ③散策路の整備 ④湿原の環境整備 ⑤小、中学生の自然観察などの学習環境の整備 ⑥ホタル祭りの開催 | | ①水路の整備 ②ホタルの幼虫放流 ③散策路の整備 ④湿原の環境整備 ⑤小、中学生の自然観察などの学習環境の整備 ⑥ホタル祭りの開催 |
| 事業費 | 1,000,024 | 1,000,005 | 1,000,000 | 3,000,029 | 1,000,000 |
| 市町支出金 (ソフト事業分) | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 3,000,000 | 1,000,000 |
| うち県交付金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 1,500,000 | |
| 市町支出金 (ハード事業分) | | | | 0 | |
| うち県交付金 | | | | 0 | |
| その他自主財源等 | 24 | 5 | 0 | 29 | 0 |

市町担当情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| 連絡先 FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | seikatukankyou@town.nogi.lg.jp |

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

| | |
|---------------------|--|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | 新橋区高齢化対策検討と対策の実施事業 |
| 事業主体の名称 | 新橋区高齢化対策検討会 |
| 代表者の名称 | 榎山 金哉 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0101 野木町友沼5313-9 |
| 事業主体の概要 | 団体の目的: 高齢化社会に如何にして対応していくか、公助を含め自助、共助による明るい地域社会の構築を目指す。 ・設立年月日: 平成24年10月20日 ・構成員等: 新橋区役員、区内自治会長、区内民生委員、老人クラブ、一般区民、野木町健康福祉課、政策課、社会福祉協議会 |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | 新橋区は、昭和57年10月に入居が始まり、野木町の1区として現在人口4,300人弱、約1,650戸が立ち並ぶ閑静な住宅地である。 当区は東京に通勤するサラリーマンが主体となっており、団塊の世代がその主力である。 これらの人々が高齢者になる5年後10年後には、高齢化率がそれぞれ37.8%、51.7%と県内でも他に類を見ない高齢者の地域と成る事が想定されている。 高齢化の進行により、独居世帯や高齢者夫婦世帯の増加、自治会等の地域活動の停滞といった従来からの課題に加え、認知症発症者の増加が想定されるため、認知症に対する対策が喫緊の課題である。 |
| 事業目的 | ・高齢者が、住み慣れた地域で、生きがいをもち、安全かつ安心して暮らせる明るい地域を構築する。 ・認知症の発症を予防し、また、仮に認知症を発症した場合でも自助、共助、公助により安心して暮らせる地域社会の構築を目指す。 ・将来的には、「高齢者になって安心して暮らせる地区」「高齢者は多いが皆元気で、地域の人たちが(外で遊ぶ)子どもの面倒を見てくれる地区」として若い世代に選ばれる地区にする。 |
| 事業概要 | 検討会では、宇都宮大学陣内教授、佐野市NPO 風の詩副理事長永島先生の指導のもとアクションプランを作成し、そのプランに従って地域づくりを実施している。 ○事業検討会 アクションプラン実行の検討会を毎月実施する他、年1回の活動報告会を開き、取組状況の報告とともに宇都宮大学の陣内教授から活動に対するアドバイスをもらう。 (高齢者が安心して暮らせる明るい地域の構築) ○高齢者見守りシステムの構築(随時) 高齢化対策検討会メンバーを中心として、高齢者世帯の災害時におけるサポート体制構築の必要性、及び日頃からのご近所の見守りの必要性について、自治会単位に意見交換会を実施するなど地域住民に対する啓発活動を行う。 高齢化対策の先進地視察や、認知症・老人介護の研修等に参加する。 ○新橋祭の見直し 高齢化で担い手不足に悩む地域行事を、高齢者と地区の小・中学生が関わっていけるものとする。 (会場設置等ケガのリスクが伴うものは専門業者に委託、高齢者と子供の交流を考えみんなが楽しめる催物企画等) 担い手不足を補うために、祭の運営経験者をサポーターとして協力を仰ぐ。 ○地域防災・防犯・交通安全活動の推進(各1回) 高齢者を交通事故から守るために、正しい自転車の乗り方や交通規則などについて自転車運転講習会を実施する。 空き巣被害から守るための防犯研修会や、高齢者を狙った振り込め詐欺の被害防止のための研修会を実施する。 (認知症対策) 認知症は、家に引きこもりがちで他人と関わる機会が少ない人ほど発症しやすいと言われることから、地域の人と触れ合う場(機会)を設ける。 ○老人会やボランティア活動等への参加促進(随時) 地区の老人会と連携し、クラブ活動(ゲートボールなど)や美化活動などのボランティア活動に積極的に参加して他人と触れ合う機会をつくる。 ○認知症に対する理解促進講座(2~3回) 認知症について正しく理解してもらうことにより認知症の方やその家族が住みやすい地域づくりにつなげるため、区内の老人会と連携して認知症講座を実施する。(講師:風の詩副理事長永島先生、健康福祉課、社会福祉協議会等) (広報活動の推進) ○高齢化対策検討会の活動だけでなく、新橋区や区内自治会の活動を広く区民に知らせるため、「新橋区ふれあい通信」を3回発行し全区民に配布するほか、町広報紙や社会福祉協議会広報紙などにも活動内容を掲載し、高齢者になっても安心して暮らせる地域をPRする。 |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | 【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり 【数値目標】流入(移住・交流)人口 117,495人(平成26年度) → 187,495人(平成31年度)【H29実績219,174人】 【基本目標4】時代に合った地域づくり 【KPI】まちづくり(協力のまち)の満足度 現状値:0.11点(平成26年調査) → 目標値:0.30点以上(平成31年調査)【5ヵ年調査のため、平成28年度実績の記載無し】 |

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 支援期間の事業費計 | 支援期間の翌年度 |
|---------------|--|--|---|-----------|----------|
| 事業内容 | ①自由参加型サロン「街かどカフェすまいる」の利用促進 ②災害時用支援マップの作成 ③区民を対象とした全戸アンケート調査結果から出された新規課題のアクションプランに基く検討 ④新橋区広報紙「ふれあい通信」による高齢化対策検討会の状況、現在実施中の政策、及び新橋区の諸活動の広報活動 ⑤認知症への理解を深めるため、区・自治会役員、および区民への研修会を開催 ⑥区民への交通安全講習会、空き巣・特殊詐欺に対する講習会の開催 ⑦区役員・自治会長への防災研修、及び区民を対象とした総合防災実習訓練の実施 ⑧過去年度に実施した各施策の検証と改善の実施 | ①高齢者の預こもりの解消(新橋祭の見直し、ふれあいサロン、自由参加型サロン「街かどカフェすまいる」の活性化) ②安全・安心見守りネットワークと連携した災害時要援護者マップの作成 ③区民を対象とした全戸アンケート調査結果から出された新規課題のアクションプランに基く検討 ④新橋区広報紙「ふれあい通信」による高齢化対策検討会の状況、現在実施中の政策、及び新橋区の諸活動の広報活動 ⑤認知症への理解を深めるため、区・自治会役員、および区民への研修会を開催 ⑥区民への交通安全講習会、空き巣・特殊詐欺に対する講習会の開催 ⑦区役員・自治会長への防災研修、及び区民を対象とした総合防災実習訓練の実施 ⑧過去年度に実施した各施策の検証と改善の実施 | ①自由参加型サロン「街かどカフェすまいる」の利用促進と運営の改善 ②区民の互助・共助意識向上の推進と、災害時要援護者支援体制の確立 ③自治会活動のあり方について継続検討 ④区民への安全・防犯意識向上策の推進 ⑤認知症サポーター育成強化と支援体制の確立 ⑥過去年度に実施した各施策の見直しと改善 ⑦区広報紙に加え、社協広報紙や町HPへの活動状況掲載による情報発信の強化 | 2,740,245 | 900,000 |
| 事業費 | 940013 | 900232 | 900000 | 2,740,245 | 900000 |
| 市町支出金(ソフト事業分) | 940000 | 900000 | 900000 | 2,740,000 | 900000 |
| うち県交付金 | 470,000 | 450,000 | 450,000 | 1,370,000 | |
| 市町支出金(ハード事業分) | | | | 0 | |
| うち県交付金 | | | | 0 | |
| その他自主財源等 | 13 | 232 | 0 | 245 | 0 |

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | sekakukankyou@town.nogi.lg.jp |

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

| | |
|---------------------|--|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | 駅前商店街活性化事業 |
| 事業主体の名称 | のぎまちづくりネットワーク |
| 代表者の名称 | 浜田 敏路 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼4640-39 |
| 事業主体の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:野木町駅前周辺の活性化を図る。 ・設立年月日:平成21年4月28日 ・構成員等:野木町在住のまちづくりに興味あり、趣旨に賛同した方 15名 |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | <p>地方を中心に少子高齢化・人口減少が進行する中、野木町でも、かつて賑わいを見せていた野木町前の商店街が閑散としており、「野木駅前周辺の商店街を元気にしてほしい」との声が上がっていた。そこで、平成21年「のぎまちづくりネットワーク」を立ち上げ、商店街への人の流れをつくるべく、年2回「のぎの楽市『えんにち』」を開催したところ、1000人を超える来場があった。以降、毎年内容を変え開催しており、昨年度開催した「ビールまつり」では2000人を超える人出があるなど、回を追うごとに来場者数が増えている。</p> <p>しかし、来場者が増えたと言っても、まだイベント時に町内で盛り上がりつつあるのみであるため、いかにしてイベント以外でも人が行き交う状態をつくり、外からも人を呼び込むかが課題となっている。</p> |
| 事業目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅前通り商店街に町内外から人を呼び込む。(1年に複数回、さらに毎年野木町を訪れてもらう。) ・イベントに地域資源を活用し、若い世代の郷土愛を醸成する。 ・町内外に向けて「きらりと光る」元気なまちをアピールし、移住を促す。 ・町民提案型のプラットフォーム事業として推進するため広く町民に協働のまちづくりを理解していただくきっかけになる。 ・定期的に駅前通り商店街にお客を呼び込みにぎわいができる。 ・町内外に「きらりと光る」元気なまちをアピール出来、経済効果も期待できる。 |
| 事業概要 | <p>【平成30年度】</p> <p>①のぎの楽市「えんにち」を年2回開催 1回目「ビールまつり」9月1日(土) 2回目「フリーマーケットとお化け屋敷」3月初旬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所は野木駅西口・富士見公園・きらり館 ・楽市はボランティア団体を中心に地域の商店、自治会等巻き込み進める。 ・2回目の楽市は子供店舗・お化け屋敷を中心に子供と地域の広場として地域密着型事業を展開し定着化を図る。 ②こども劇として「野木宮合戦」をアレンジし屋外で出来るよう検討、開催。 ③駅周辺の商店を紹介するためのマップの見直し、配布し集客に役立てる。 ④ひまわりまつり開催時に臨時案内所開設し来場者におもてなしをする。 ⑤町外からの来場者獲得のためホームページ、フェイスブック、テレビ等情報発信を強化する。 <p>【平成31年度】</p> <p>協働のまちづくりとして町民への理解が浸透した、今後はのぎの楽市を定着させるために地域・ボランティア・商店が一体となり活動ができるよう組織づくりすると共に情報発信の強化も図る。</p> |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | <p>野木町総合戦略の8プロジェクトで「高齢対策プロジェクト」「水と緑と歴史のまちづくりプロジェクト」等の目標戦略と合致する</p> <p>【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり</p> <p>【KPI】</p> <p>観光入込客数 現状値:116,491人(平成26年度) → 目標値:186,491人(平成31年度)【H28実績206,000人】</p> <p>転入者数 (H26)社会増減数8人の転入超過 → (H27~H31の5年間で)社会増減数180人の転入超過【H29年実績値 41人】</p> <p>転入1,364 転出1,323</p> |

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 支援期間の 事業費計 | 支援期間の 翌年度 |
|-------------------|---|---|---|---------------|--|
| 事業内容 | ①楽市の開催(年2回) ②屋外こども劇の検討 ③商店マップの見直し ④駅前案内所臨時開設 (ひまわりフェスティバル他) | ①楽市の開催(年2回) (ビールまつり、体験広場) ②屋外こども劇の開催 ③商店マップの活用 ④駅前案内所臨時開設 (ひまわりフェスティバル他) | ①楽市の開催(年2回) ②屋外こども劇の開催 ③商店マップの活用 ④駅前案内所臨時開設 (ひまわりフェスティバル他) ⑤お化け屋敷の開催 | | ①楽市の開催(年2回) ②屋外こども劇の開催 ③商店マップの活用 ④駅前案内所臨時開設 (ひまわりフェスティバル他) |
| 事業費 | 1,036,834 | 1,057,440 | 1,000,000 | 3,094,274 | 1,000,000 |
| 市町支出金 (ソフト事業分) | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 3,000,000 | 1,000,000 |
| うち県交付金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 1,500,000 | |
| 市町支出金 (ハード事業分) | | | | 0 | |
| うち県交付金 | | | | 0 | |
| その他自主財源等 | 36,834 | 57,440 | 0 | 94,274 | 0 |

市町担当情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | seikatukankyou@town.nogi.lg.jp |

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

| | |
|---------------------|--|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | 野木町さくらまつり |
| 事業主体の名称 | 野木町さくらまつり実行委員会 |
| 代表者の名称 | 委員長 真瀬 宏子 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町役場産業課商工観光係内」 |
| 事業主体の概要 | 団体の目的:桜が開花する時期に祭りを開催することにより、町民相互の交流とコミュニティの活性化を図る。 また、桜を中心とした町内の各種まつりをPRすることにより、地域の活性化に寄与することを目的とする。 設立年月日:平成27年1月21日 構成員等:町観光協会、町工場協会、商工会、地元区長、野木神社宮司 等 計19名 |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | 栃木県内のほとんどの市町で人口減少傾向が続く中、野木町も年々人口が減少している状況にある。これまで、人を呼び込むためのイベントとして、「夏のひまわりフェスティバル」「秋の産業祭」「冬の駅前のイルミネーション」と季節に応じた開催してきたが、春のみ目立ったイベントがなかったことから、平成27年度、それまで春の同時期に行われていた伝統行事と町内に点在する桜の名所の観光を促進するイベントとして「春まつり」を開催した。春まつりの開催前はこの時期に大きな交流人口の増加はなかったが、春まつり初年度である平成27年度は、町内外から2,000人が訪れるなど、好評を博した。しかし、まだ開催2年目で知名度が高くないことから、今後いかにして「外から人を呼び込むか」「来場者に野木町の魅力を知ってもらい、年間を通して訪問してもらおうか」「ゆくゆくは移住定住につなげていくか」が課題となっている。 |
| 事業目的 | ・町外(県外)から野木町に訪れてもらうきっかけをつくる。 ・年間を通して野木町を訪れてもらうきっかけをつくる。 ・将来的に野木町に移住定住してもらうきっかけとなるよう、来場者に町の魅力を知ってもらう。 |
| 事業概要 | 【平成30年度】 《野木町を訪れるきっかけ》 第4回のさくらまつりを開催し、今年度は下線部を追加実施し、さらなる集客を図った。 ◎さくらまつりの開催(平成30年4月7日(土)~4月8日(日)) ・さくらまつり(平成30年4月7日(土)、野木町総合運動公園) 町内外の各種団体によるステージイベント、ふれあい模擬店、打上花火、熱気球係留飛行体験、よしず作り体験 チェーンソーアート、ふわふわ遊具 家族連れの誘客を目的として、子供向けのイベントを実施した。 ・ささら獅子舞(平成30年4月7日(土)・8日(日)、野木町大字野渡 熊野神社)…野渡地区住民による獅子舞の演舞、山車巡り ・春神楽(平成30年4月8日(日)、野木神社)…太々神楽の披露 ○集客 広報紙や町HPへの掲載。チラシ(11,000枚)を新聞折込、ポスター(150枚)を町内企業等に設置する。 ○次回さくらまつり準備 平成31年度の野木町さくらまつりの実施に関する備品等の購入(平成31年2月まで) 《野木町の魅力を知ってもらう》 来場者に対するPRとして、観光情報誌「るるぶ」を配布し、野木町の魅力をアピールする。 |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | 【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり 【KPI】観光入込客数 現状値:116,491人(平成26年度) → 目標値:186,491人(平成31年度)【H29実績219,174人】 【基本目標4】時代にあった地域づくり 【数値目標】野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値:80.7%(平成26年調査)→目標値:90.0%(平成31年調査)【5ヶ年調査のため、平成28年度実績の記載無し】 |

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 支援期間の 事業費計 | 支援期間の 翌年度 |
|-------------------|--|--|--|---------------|--|
| 事業内容 | ①さくら祭り ②ささら獅子舞 ③春神楽 ④次回春まつり準備 | ①さくら祭り ②ささら獅子舞 ③春神楽 ④次回春まつり準備 | ①さくら祭り ②ささら獅子舞 ③春神楽 ④次回さくらまつり準備 | | ①さくら祭り ②ささら獅子舞 ③春神楽 ④次回さくらまつり準備 |
| 事業費 | 1,894,208 | 2,419,896 | 1,500,000 | 5,814,104 | 1,500,000 |
| 市町支出金 (ソフト事業分) | 1,500,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 3,500,000 | 1,000,000 |
| うち県交付金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 1,500,000 | |
| 市町支出金 (ハード事業分) | | | | 0 | |
| うち県交付金 | | | | 0 | |
| その他自主財源等 | 394,208 | 1,419,896 | 500,000 | 2,314,104 | 500,000 |

市町担当情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | seikatukankyou@town.nogi.lg.jp |

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

| | |
|---------------------|---|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | 野木町ふれあい夏祭り |
| 事業主体の名称 | 野木町ふれあい夏祭り実行委員会 |
| 代表者の名称 | 実行委員長 古澤 清一郎 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町教育委員会事務局生涯学習課内」 |
| 事業主体の概要 | <p>・団体の目的:郷土芸能の保存及び町民同士の親睦を深める。</p> <p>・設立年月日:平成22年7月16日</p> <p>・構成員等:野木町おはやし保存会連絡会、野木町子ども会連合会、野木町女性団体連絡協議会、野木町レククラブ、野木町文化協会民謡舞踊部、野木町民の歌保存会、野木町生涯学習ボランティア連絡会、よさこい野木ひまわり、市川善英由会、野木中学校吹奏楽部、野木町スポーツ推進委員会、野木町ボランティア支援センター「きり館」利用者協議会ほか団体多数</p> |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | <p>野木町では、かつて町内の各地区に「おはやしの会」があり、地域行事等でおはやしを披露することが盛んに行われていたが、平成以降、会員の高齢化に伴い、活動が縮小もしくは停止している状況となっていた。また、野木町民の歌として「野木町音頭」があるが、町民への認知度は高いとは言えない状況にあった。</p> <p>そこで、平成10年、伝統文化の継承を目的として「おはやしの教室」を始め、さらに、平成22年からはおはやしや野木町音頭を再評価し定着させようという動きから、野木町ふれあい夏祭りを開催してきた。当初は、おはやし教室に参加した子どもたちの発表や、大人と子どもが日光和楽踊り・野木町音頭と一緒に踊るなどしていたが、現在では参加団体も増え、よさこい、フラダンス、三味線、中学生の吹奏楽や模擬店数など、第1回の倍以上の売店になった。</p> <p>しかし、少子高齢化という根本的な問題が解決していないことから、今後いかにして外から人を呼び込み伝統行事を継続していくかが課題となっている。</p> |
| 事業目的 | <p>・町の伝統文化・芸能を若い世代に継承していく。</p> <p>・野木町を訪れるきっかけをつくる。</p> <p>・将来的に野木町に移住定住してもらうきっかけとなるよう、来場者に町の魅力を知ってもらう。</p> <p>・子どもから大人(高齢者)までボランティアが盛んな町、さらには「生涯活躍のまち」として町外にアピールする。</p> |
| 事業概要 | <p>【平成30年度】</p> <p>《野木町を訪れるきっかけ》</p> <p>○ふれあい夏祭りの開催(平成30年8月25日(土)) ※H29来場者3500人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓[おはやし]教室受講生の発表・・・町内の小中学生が練習の成果を披露 ・おはやしの模範演奏・・・おはやし保存会員による模範演奏 ・野木町音頭、日光和楽踊り・・・町民の歌である野木町音頭に合わせた踊りや日光和楽踊りの披露(誰でも参加可) ・子ども広場(レクゲーム、遊びのコーナー)・・・来場した子どもにも楽しんでもらうため、スタンプラリーや各種ミニゲームを実施 ・イブニングコンサート・・・野木中学校吹奏楽部の生徒によるコンサート ・食のコーナー・・・野木ブランド品の販売や各種模擬店の出店 ・体験コーナー・・・子ども活動の体験ができるコーナー ・うちわ配布・・・夏祭りうちわのプレゼント ・アンケートコーナー・・・ふれあい夏祭りに関するアンケートを実施 <p>○おはやし教室の開催(年4回)</p> <p>野木町おはやし保存会の活動を支援して、小中学生を対象に「おはやし」教室を開催する</p> |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | <p>【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり</p> <p>【KPI】</p> <p>観光入込客数 現状値:116,491人(平成26年調査) → 目標値:現状より70,000人の増加(平成31年度)【H29実績219,174人】</p> <p>【基本目標4】時代にあった地域づくり</p> <p>【数値目標】</p> <p>野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値:80.7%(平成26年調査) → 目標値:90.0%(平成31年調査)</p> |

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 支援期間の事業費計 | 支援期間の翌年度 |
|---------------|---|--|---|-----------|---|
| 事業内容 | ①太鼓[おはやし]教室受講生の発表 ②おはやしの模範演奏 ③野木町音頭、日光和楽踊り ④子ども広場(レクゲーム、遊びのコーナー) ⑤イブニングコンサート ⑥食のコーナー(模擬店等) ⑦体験コーナー(よさこい体験、うちわ作り等) ⑧うちわ配布 | ①太鼓[おはやし]教室受講生の発表 ②おはやしの模範演奏 ③野木町音頭、日光和楽踊り ④子ども広場(レクゲーム、遊びのコーナー) ⑤イブニングコンサート ⑥食のコーナー(模擬店等) ⑦体験コーナー(よさこい体験、うちわ作り等) ⑧うちわ配布 ⑨来場者アンケート実施 | ①太鼓[おはやし]教室受講生の発表 ②おはやしの模範演奏 ③野木町音頭、日光和楽踊り ④子ども広場(レクゲーム、遊びのコーナー) ⑤イブニングコンサート ⑥食のコーナー(模擬店等) ⑦体験コーナー(よさこい体験等) ⑧うちわ配布 ⑨来場者アンケート実施 ⑩町のPRコーナー設置 | | ①太鼓[おはやし]教室受講生の発表 ②おはやしの模範演奏 ③野木町音頭、日光和楽踊り ④子ども広場(レクゲーム、遊びのコーナー) ⑤イブニングコンサート ⑥食のコーナー(模擬店等) ⑦体験コーナー(よさこい体験、うちわ作り等) ⑧うちわ配布 |
| 事業費 | 615,025 | 615,100 | 615,000 | 1,845,125 | 615,000 |
| 市町支出金(ソフト事業分) | 615,000 | 615,000 | 615,000 | 1,845,000 | 615,000 |
| うち県交付金 | 307,500 | 307,500 | 307,500 | 922,500 | |
| 市町支出金(ハード事業分) | | | | 0 | |
| うち県交付金 | | | | 0 | |
| その他自主財源等 | 25 | 100 | 0 | 125 | 0 |

市町担当情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| 連絡先 FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | seikatukankyou@town.nogi.lg.jp |

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

| | |
|---------------------|--|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | 野木町駅伝大会 |
| 事業主体の名称 | 野木町駅伝大会実行委員会 |
| 代表者の名称 | 委員長 真瀬 宏子 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町教育委員会事務局生涯学習課内」 |
| 事業主体の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:生涯スポーツの普及と振興を図る ・設立年月日:平成28年7月中(予定) ・構成員等:野木町体育協会23加盟団体、スポーツ関係団体、職員 |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | <p>野木町は、「1人1スポーツ」というスローガンのもと、町体育協会加盟の23団体、元気の出るスポーツクラブのぎ、町体育施設、学校体育施設の定期利用団体等を中心に、年間延べ241,000人が何らかのスポーツ活動をしているなど、スポーツが盛んな町である。さらなるスポーツ振興のため、町では昭和46年から、子どもから大人までがタスキをつなぐ駅伝大会を開催し、日頃の練習の成果を発揮する場を設けてきた。</p> <p>しかし、野木町でも少子高齢化・人口減少が進み、子どもの部を中心に参加者の減少が懸念されているほか、近年では、ランニング=つらい=やらない子どもが増え、子どもの体力低下も懸念されている上、スポーツが盛んな町とはいえ、中高年も加齢とともに日常的な運動から離れつつある。そのため、いかにして参加者の減少を食い止めるとともに、子どもから大人まで生涯スポーツの普及を図っていくかが課題となっている。</p> |
| 事業目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの1つとしてランニングを推進する。 ・子どもから大人まで、日常的にランニングを行う町にする。 ・ランニングの指導体制をつくる。 ・子どもの教育にいい町、子どもから大人まで健康で生き生きしている町として、移住定住先に選ばれる町になる。 |
| 事業概要 | <p>○第47回野木町駅伝大会の開催(平成31年1月20日(日)) 小学生から大人までが町内東側を一周するコース 内容:14.1km(6区間) 中学生男子、一般男子、壮年男子の部 11.1km(5区間) 小学生男女、中学生女子、一般女子の部 ○小学生マラソン教室の開催(関係団体のボランティアに講師を依頼し、「走ることの楽しさ」を伝え日頃から走る習慣をつけ、体力作りをして駅伝大会に参加した。) 4月~3月(24回) 第11回栃木県小学生駅伝競走大会出場予定(平成31年1月27日(日))</p> |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | <p>【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり 【数値目標】 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値:59.0%(平成27年調査) → 目標値:70.0%(平成31年調査)【5か年調査のため、平成28年度実績の記載無し】 【KPI】 まちづくり(教育のまち)の満足度 現状値:0.29点(平成26年調査) → 目標値:0.45点以上(平成31年調査)【5か年調査のため、平成28年度実績の記載無し】</p> |

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 支援期間の 事業費計 | 支援期間の 翌年度 |
|-------------------|---------|-----------|---------|---------------|--------------|
| 事業内容 | 野木町駅伝大会 | 野木町駅伝大会 | 野木町駅伝大会 | | 野木町駅伝大会 |
| 事業費 | 990,000 | 1,015,210 | 993,719 | 2,998,929 | 1,000,000 |
| 市町支出金 (ソフト事業分) | 680,000 | 680,000 | 680,000 | 2,040,000 | 680,000 |
| うち県交付金 | 340,000 | 340,000 | 340,000 | 1,020,000 | |
| 市町支出金 (ハード事業分) | | | | 0 | |
| うち県交付金 | | | | 0 | |
| その他自主財源等 | 310,000 | 335,210 | 313,719 | 958,929 | 320,000 |

市町担当情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | seikatukankyou@town.negi.lg.jp |

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

| | |
|---------------------|---|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | ひまわりフェスティバル |
| 事業主体の名称 | 野木町ひまわりフェスティバル実行委員会 |
| 代表者の名称 | 委員長 真瀬 宏子 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町役場産業課観光係内」 |
| 事業主体の概要 | 団体の目的: 町の花でもある「ひまわり」を活用したイベントを地元町民と連携し実施することで、野木町のPR及び地域の活性化に寄与することを目的とする。 設立年月日: 平成3年4月1日 構成員等: 町観光協会、町工場協会、商工会、地元区長、花咲かせ隊 等 計25名 |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | 町の花でもある「ひまわり」を活用して野木町のPRイベントとして、「ひまわりフェスティバル」を平成3年度より開催している。平成30年度で第27回目となるイベントで、町内外にも「野木町といえばひまわり」というイメージが定着しつつあり、平成29年度は約7万人の来場者があった。 会場に栽培するひまわりは、地元農家が組織する「ひまわり協議会」がひまわり栽培を担っており、夏の風物詩として開催されている事業に対する地元住民の愛着も芽生えている。 しかし、イベント内容が固定化されているため内容の見直しや改善が求められており、リピーター獲得のためにも新たな内容を盛り込む必要がある。 |
| 事業目的 | ・町外(県外)から野木町に訪れてもらうきっかけをつくる。 ・将来的に野木町に移住定住してもらうきっかけとなるよう、来場者に町の魅力を知ってもらう。 |
| 事業概要 | 【平成30年度】 第27回の開催を迎え、野木町の夏の一大イベントとして定着しつつある「ひまわりフェスティバル」は、開催にあたり町商工会や町観光協会をはじめとする様々なまちづくり団体が協働して準備をおこなうなど、全町を挙げたイベントである。例年、町内外から7万人の人手があり、本町の地域活性化はもとより、定住促進に大いに寄与していた。 今後、新たに町民となった方々にも、イベントの担い手として気軽に参加していただけるよう、毎年内容を検討するとともに、イベントを通じて、本町の魅力を広くPRすることにより、町外からの移住を促進していく。 事業内容 ①実行委員会の開催 実行委員を招集し、事業内容、収支予算等を検討 ②ポスター、パンフレット等の作成・配布 ポスター 150枚(配布先: 商工会会員、協賛企業等) パンフレット 2万枚(町内各戸、来場者等) ③ひまわりフェスティバルの開催 《期日》平成30年7月27日(金)～29日(日) 《内容》ひまわり大迷路、ひまわりトレイル号、歌謡ショー、花火大会 等 ※次年度は反省点を踏まえて、再度内容を検討する。 |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | 【基本目標2】 人を呼び込むための魅力づくり 【KPI】 観光入込客数 現状値: 116,491人(平成26年度) → 目標値: 186,491人(平成31年度)【H28実績206,000人】 【基本目標4】 時代にあった地域づくり 【数値目標】 野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値: 80.7%(平成26年調査) → 目標値: 90.0%(平成31年調査)【5ヶ年調査のため、平成28年度実績の記載無し】 |

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

| | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 支援期間の 事業費計 | 支援期間の 翌年度 |
|-------------------|---|--|--|---------------|--|
| 事業内容 | ①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成・配布 ③フェスティバルの開催 | ①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成 ③フェスティバルの開催 | ①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成 ③フェスティバルの開催 | | ①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成 ③フェスティバルの開催 |
| 事業費 | 16,700,000 | 16,700,000 | 16,700,000 | 50,100,000 | 16,700,000 |
| 市町支出金 (ソフト事業分) | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 | 6,000,000 | 2,000,000 |
| うち県交付金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 3,000,000 | |
| 市町支出金 (ハード事業分) | | | | 0 | |
| うち県交付金 | | | | 0 | |
| その他自主財源等 | 14,700,000 | 14,700,000 | 14,700,000 | 44,100,000 | 14,700,000 |

市町担当情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| 連絡先 FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | seikatukankyou@town.nogi.lg.jp |

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

| | |
|---------------------|---|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | 野木町魅力ある観光地づくり事業 |
| 事業主体の名称 | 野木町観光協会 |
| 代表者の名称 | 会長 小島 三利 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町役場産業課観光係内」 |
| 事業主体の概要 | 団体の目的:野木町における観光事業の振興を図り、地域住民の福祉向上と産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 設立年月日:平成7年3月16日 構成員等:町内事業所、各種団体等 計111名 |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | 野木町は、国指定重要文化財「野木町煉瓦窯」の歴史やラムサール条約登録湿地である「渡良瀬遊水地」等の豊かな自然があり、栃木県の南の玄関口として首都圏からの誘客を図っている。 しかし、地域活性化にその強みを活かしていない状況であり、結果として平成29年の観光客入込数は219,174人で栃木県内25市町中24位となっている。平成27年の国勢調査の結果でも、平成22年人口は25,720人であったが、平成27年人口は25,292人となっており、428人減少している状況である。この結果から、観光客入込数の少なさを町の知名度も低く、移住希望者から選択されにくく、人口も減少していることが読み取れる。 野木町観光協会では、野木町における観光事業の振興を図り、地域住民の福祉向上と産業・文化の発展に寄与することを目的として、イルミネーション事業等の各種観光振興事業を行ってきた。 平成30年度についても、イルミネーション事業をはじめとした自主事業を継続して実施するほか、栃木県アンテナショップである「とちまるショップ」での観光PRのほか、各種イベントに積極的に参加することにより、本町の観光振興を図る。また、JRグループ6社が本年4月1日から6月30日の期間において実施する、国内最大級の大型観光企画「本物の出会い栃木 デスティネーションキャンペーン」を契機とした観光誘客の促進を図るため、各種団体との連携やのぎ観光コンシェルジュの体制強化等による「おもてなし」を推進する。 |
| 事業目的 | 野木町の魅力を発掘し、イルミネーション等の事業を展開することで誘客を図る。 観光コンシェルジュを育成し、観光客に対するおもてなし強化を図る。 |
| 事業概要 | 【平成30年度】 1 普及宣伝事業 ① ホームページ及びSNS等を活用し、効果的なPRを実施する。 ② 「栃木県アンテナショップ」のイベントスペースにおいて実施される「花とレンガのまち」野木フラワーカーペット2018PRイベント(4月上旬)をはじめ、東京駅構内で実施されるひまわりフェスティバルPRイベント(7月上旬)等の各種観光PRイベントに積極的に出展する。 ③ 下野新聞「ふるさと通信」等、新聞、雑誌等各種メディアを活用し、野木町の宣伝活動を行う。 2 組織強化事業 ① 町広報、ホームページ等に会員募集広告を掲載し、会員数の増加を図る。 ② 事業推進部会員の増員等の措置により、部会活動の強化を図る。 ③ のぎ観光コンシェルジュを育成し、協会の強化を図る。 3 観光振興事業 ① 「招福のまち」野木スタンプラリー 【実施期間】平成30年4月1日(日)～同年8月31日(金) 【内 容】「本物の出会い栃木 デスティネーションキャンペーン」を契機とした観光誘客の促進を図るため、町内に隠れた幸せ・ハートを探せ!をテーマとしたスタンプラリーを開催する。 ② TOWN-NOGIイルミネーション2018(仮称) 【実施期間】平成30年11月下旬～平成31年1月中旬(予定) 【内 容】オブジェ、ネットライト等、故障した部材を追加購入し装飾の補強を行う。 ④ 農事組合法人ファームわかとの連携 野木ブランドである「ひまわり油」の作成、販売を行う。 ⑤ のぎ観光コンシェルジュと一緒に野木めぐり 【実施日】未定 【内 容】のぎ観光コンシェルジュと一緒に野木町の各名所を回るツアーを実施する。 ⑥ キャラクターグッズの作成販売 のぎのん、ひまわりサンちゃん、ふくろうを題材としたグッズの作成、販売を行う。 |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | 【基本目標2】 人を呼び込むための魅力づくり 【KPI】 観光入込客数 現状値:116,491人(平成26年度) → 目標値:186,491人(平成31年度)【H28実績206,000人】 【基本目標4】 時代に合った地域づくり 【数値目標】 野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値:80.7%(平成26年調査)→目標値:90.0%(平成31年調査)【5か年調査のため、平成28年度実績の記載無し】 |

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

| 事業内容 | 30年度 | | | 31年度 | | 32年度 | | 支援期間の 事業費計 | 支援期間の 翌年度 |
|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------|-----------|------|------|---------------|--------------|
| | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 30年度 | | |
| 事業内容 | ①普及宣伝事業 ②組織強化事業 ③観光振興事業 | ①普及宣伝事業 ②組織強化事業 ③観光振興事業 | ①普及宣伝事業 ②組織強化事業 ③観光振興事業 | | | | | | |
| 事業費 | 2,140,000 | 2,140,000 | 2,140,000 | 6,420,000 | 2,140,000 | | | | |
| 市町支出金 (ソフト事業分) | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 3,000,000 | 1,000,000 | | | | |
| うち県交付金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 1,500,000 | | | | | |
| 市町支出金 (ハード事業分) | | | | 0 | | | | | |
| うち県交付金 | | | | 0 | | | | | |
| その他自主財源等 | 1,140,000 | 1,140,000 | 1,140,000 | 3,420,000 | 1,140,000 | | | | |

市町担当情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | seikatukankyou@town.nogi.lg.jp |

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

| | |
|---------------------|--|
| 市町名 | 野木町 |
| 事業名 | 野木町産業祭 |
| 事業主体の名称 | 野木町産業祭実行委員会 |
| 代表者の名称 | 会長 真瀬 宏子 |
| 事業主体の所在 | 〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町役場産業課観光係内」 |
| 事業主体の概要 | 団体の目的: 町産業を一堂に集め、地域住民への紹介を通して小さくともキラリと光る町づくり及び農業・工業・商業調和のとれた発展に寄与することを目的にする。 設立年月日: 平成53年4月1日 構成員等: 町観光協会、町工場協会、商工会、農業協同組合 等 計22名 |
| 当該事業に係る地域の現状と課題 | 町内の農業・工業・商業の発展のために昭和53年より開催している野木町産業祭は、今年度で41回を迎え本町の秋の風物詩をなっており、平成29年度は5千人の来場者があった。町民も町内の企業や農産物が一堂に会する機会を心待ちにしており、地産地消に貢献している。 農産物共進会では、県知事賞及び県農務部長賞等の賞を設けており生産者の出品意欲の向上に寄与しているが、生産者の高齢化により、出品数も年々減少している。 町内産業が一堂に会する機会として定着しているが、イベント内容が固定化されているため内容の見直しや改善が求められており、リピーター獲得のためにも新たな内容を盛り込む必要がある。 |
| 事業目的 | ・町内の商業、農業、工業を紹介することにより、地元産業への理解を深めるきっかけをつくる。 ・町民参加型のイベント等を開催することにより、町産業界と町民が一体となって町内の持続的な発展、活性化に向けた機運の醸成を図る。 |
| 事業概要 | 【平成30年度】 ・野木町産業祭の開催趣旨に基づき、農・商・工分野の各団体が一丸となり、農業部門では「農産物共進会」を、商業、工業部門では模擬店等の各種催事を実施する。 事業内容 ①実行委員会の開催 実行委員を招集し、事業内容、収支予算等を検討 ②ポスター、パンフレット等の作成・配布 ポスター 150枚(配布先: 商工会会員、協賛企業等) パンフレット 1万枚(町内各戸、来場者等) ③産業祭の開催 各部会が中心となって、各種イベントを開催する。 1) 農業の部 農産物共進会及び即売会(町内農家による農産物の品評及び農産物の即売) ふるさと鍋コーナー(地元農産物を使用した鍋の無料配布) 等 2) 商業の部 日用品等即売会(商工会員店舗による即売会) ふれあい模擬店(町内店舗及び各種団体による模擬店) 等 3) 工業の部 工業製品等展示即売会(町内工場による製品展示及び商品販売) 4) プレゼントコーナー とまと・堆肥のプレゼント(町内産農作物の無料配布) 苗木配布及び緑の募金・山の日のPR活動(緑化推進事業による苗木配布) 等 |
| 事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI | 【基本目標2】 人を呼び込むための魅力づくり 【KPI】 観光入込客数 現状値: 116,491人(平成26年度) → 目標値: 186,491人(平成31年度)【H29実績219,174人】 【基本目標4】 時代に合った地域づくり 【数値目標】 野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値: 80.7%(平成26年調査) → 目標値: 90.0%(平成31年調査)【5ヵ年調査のため、平成28年度実績の記載無し】 |

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

| | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 支援期間の 事業費計 | 支援期間の 翌年度 |
|-------------------|---|---|---|---------------|---|
| 事業内容 | ①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成・配布 ③産業祭の開催 | ①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成・配布 ③産業祭の開催 | ①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成・配布 ③産業祭の開催 | | ①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成・配布 ③産業祭の開催 |
| 事業費 | 2,529,000 | 2,529,000 | 2,529,000 | 7,587,000 | 2,529,000 |
| 市町支出金 (ソフト事業分) | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 3,000,000 | 1,000,000 |
| うち県交付金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 1,500,000 | |
| 市町支出金 (ハード事業分) | | | | 0 | |
| うち県交付金 | | | | 0 | |
| その他自主財源等 | 1,529,000 | 1,529,000 | 1,529,000 | 4,587,000 | 1,529,000 |

市町担当情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 担当課(グループ・係)名 | 町民生活部 生活環境課 |
| 担当者名 | 川野 千春 |
| 電話 | 0280-57-4132 |
| 連絡先 FAX | 0280-57-3945 |
| E-mail | seikatukankyou@town.nogi.lg.jp |